

医学研究実施のお知らせ

本院臨床研究審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人）で、この研究についてくわしくお知りになりたい場合、この研究に資料や情報を利用することをご了解できない場合（すでに研究結果が公表されている場合には、ご希望に添えない場合もあります）には、【問い合わせ先】へご連絡ください。

【研究課題名】 心房細動に対するループ型パルスフィールドアブレーションカテーテルによる肺静脈隔離術における至適焼灼法に関する後ろ向き研究

【研究の概要】

●目的

心房細動に対するループ型パルスフィールドアブレーションカテーテルによる肺静脈隔離術において、肺静脈入口部、及び、追加の肺静脈前庭部でのそれぞれのアブレーション後の左房電位マップを比較・検証し、至適焼灼方法を明らかにすることで、更に質の高い医療を目指すことを目的とします。

●研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。

●研究の方法

2025年1月以降心房細動に対するループ型パルスフィールドアブレーションカテーテルによる肺静脈隔離術の際に、推奨される肺静脈入口部で4回アブレーション後、追加の肺静脈前庭部で4回のアブレーション後、の2回左房電位マップを作成します。2つのマップから、(1) 肺静脈入口部及び追加の肺静脈前庭部焼灼での急性期肺静脈隔離率、(2) 肺静脈入口部及び追加の肺静脈前庭部焼灼後の肺静脈電位残存部、(3) 肺静脈入口部及び追加の肺静脈前庭部焼灼後の焼灼部位範囲の差異、(4) 上記プロトコールで急性期肺静脈隔離の成功・不成功であった肺静脈形態（計・面積・楕円率等）、及び、(5) 投与可能な場合、アデノシン三リン酸投与による肺静脈潜在性伝導、等を評価します。すべて通常の診療の範囲内で行ないます。通常の診療で得られた記録とともにまとめ、後ろ向きで解析を行ないます。

●対象となる方

東大和病院 循環器科にて2025年1月1日～2025年12月31日までの間に心房細動に対して、ループ型パルスフィールドアブレーションカテーテルによる肺静脈隔離術、及び、上記マッピングを施行されたすべての患者

●研究に利用する試料、情報等

情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、画像検査、心電図検査、内服薬、心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼時の手技データ、等

●外部への情報・資料の提供

なし

●個人情報の取り扱い

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる情報は利用いたしません。

●その他

本研究には資金提供はなく、開示すべき利益相反はありません。

問い合わせ先 （対応時間：平日 9：00～17:00）

東大和病院 循環器科

研究代表者：長瀬 宇彦 電話：042-562-1411